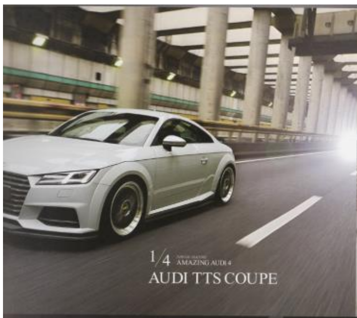


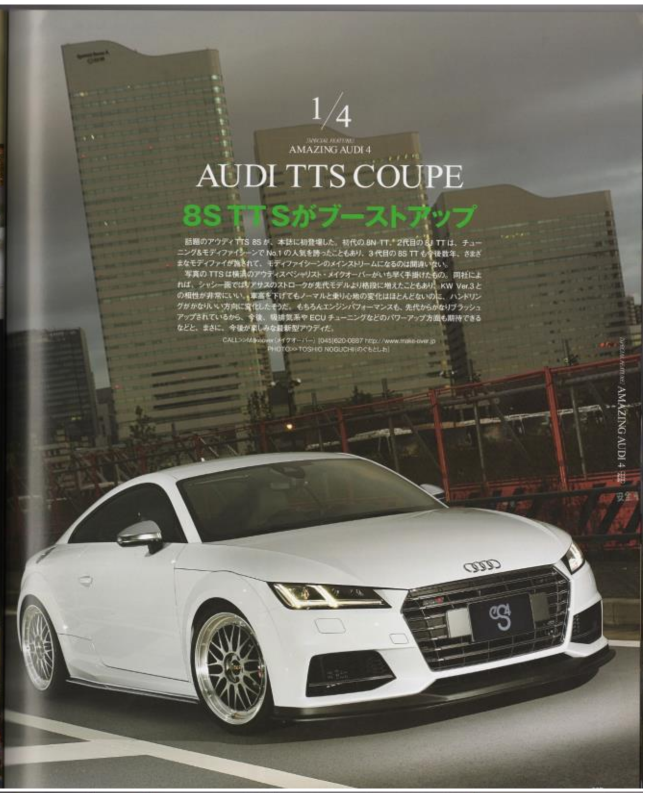
[SPECIAL FEATURE]

AMAZING AUDI

驚きたっぷりアウディ4

アウディは現行型スタイリングが冬でも熱い!

ここしばらくアウディ中心の雑誌作りをしている本誌だけれど、いまだアウディには飽きがこない。
毎回毎回たくさんの話題を提供してくれるし、60号を数える今回は、2016年モディファイシーンの大本命とも言える
アウディ8S TT Sクーペが登場し、最新モードを見せてくれた。その一方で、トップ人気の A5スポーツバックも、
熟成されたハイレベルな姿を見せてくれている。アウディって、ほんと多彩。驚きたっぷり。



1/4

[SPECIAL FEATURE] AMAZING AUDI 4

AUDI TTS COUPE

8S TT Sがブーストアップ

話題のアウディ TTS 8S が、本誌に初登場した。初代の 8N-TT、2代目の 8J TT は、チューニング&モディファイシーンで No.1 の人気を誇ったこともあり、3 代目の 8S TT も今後数年、さまざまなモディファイが施されて、モディファイシーンのメインストリームになるのは間違いない。

写真の TTS は横浜のアウディスペシャリスト・メイクオーバーがいち早く手掛けたもの。同社によれば、シャシー面ではリアサスのストロークが先代モデルより格段に増えたこともあり、KW Ver.3 との相性が非常にいい。車高を下げてもノーマルと乗り心地の変化はほとんどないのに、ハンドリングがかなりいい方向に変化したそうだ。もちろんエンジンパフォーマンスも、先代からかなりブラッシュアップされているから、今後、吸排気系や ECU チューニングなどのパワーアップ方面も期待できるなどと、まさに、今後が楽しみな最新型アウディだ。

CALL>>Makeover〔メイクオーバー〕[045]620-0887 http://www.make-over.jp
PHOTO>>TOSHIO NOGUCHI〔のぐちとしお〕

ストリートでもあまり見かけないほどフレッシュなモデ
ウディ TTS に向けて、バランスイットチューニング
エアロスタイリングの開発が進む。12 月初旬現在、
リップスポイラーとサイドスカート、リアトランクスポ
が完成した。この3点に加え、リアディフューザー
インがほぼ完成し、1月の東京オートサロンで4点を
させる予定だという。で、ジャパンプレミアを前に、
スイットと横浜・メイクオーバーのジョイントで、8S
どんなホイールが似合うのか、をテーマに2種類の
マッチングを行った（車高はKW Ver.3車高調で
いる）。
めは、3ピース鍛造のBBS LM。トラディショナ
シュ／ステップリップデザインの 19×8.5を、ミシュラン・パイロットスーパースポーツの 245/35R19と組み合わせる。イマドキ感はちょっと足りないかもしれないが、さすがBBSらしくパフォーマンスカーっぽさはバッチリだ。

2セットめは、1ピースキャストのUSロティフォーム新型BLQ 20インチ。従来型のBLQキャストとはデザインがだいぶ異なり、一見フォージドと見分けがつかないほど質感たっぷり。サイズは 20×10.0 前後をマウント。8S のTT Sでは、ミシュラン・パイロットスーパースポーツを履かせても、なんの苦労もなくオーバー 10.0リムの"太履き"ができる。またイマドキ感満点のメッシュデザインでスポークが長く見えるため、19インチの BBSより、1インチ以上大きく見える視覚的効果も加わる。

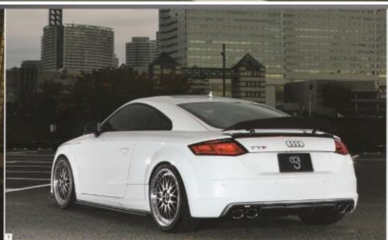
この2本のホイールは 2015 年いっぱいまでの仕様で、東京オートサロンにはプレシジオーネ製の20インチ鍛造モノブロックを履かせて登場するそうだ。

8S TTのモディファイドは、バランスイット／メイクオーバーのほかにも続々とでき上がってくるはずだが、クイックなスタイリングの開発とホイールのマッチングを実際に装着して行うバランスイットのエアロの仕上がりは、他の追随を許さない。

TTS COUPE

BBS>>LM F:19×8.5J R:19×8.5J Finish:Diamond Black Disk+Silver Dia-cut Rim
ROTIFORM>>BLQ F:20×10.0 R:20×10.0 Finish:Black and DDT
CHELIN>> Pilot Super Sport F:245/35R19 R:245/35R19(BBS)、
F:245/30R20 R:245/30R20(ROTIFORM)
NSION KW>> Ver.3 Adjustable Coilover
OR balance it tuning>> F Lip Spoiler/S Skirt/Carbon Trunk Spoiler

メーターパネルはすべてデジタル表示。メータースクリーンにナビのマップも表示できる。これはハイテクだ。



1 2 上が BBS LM 19インチ、下がロティフォーム BLQ20 インチ。ステップリムと1ピースコンケーブのキャラクターの差で、1インチ以上大きさに違いがあるように見える。パフォーマンス優先か、オプティカル優先か——。3 ロティフォームの定番 BLQ がモデルチェンジ。従来モデルとイメージがかなり違う。

4 5 TTS の自動昇降トランクスポイラーに取り付けられるバランスイット製。せり上がったときに最大の空力的効果が発揮される。6 バランスイットらしく、前にせり出したチンスポイラー形状。TTS のほか、TT の S ラインにも装着可能。7 サイドスカートは流行りのカーボン板ではないアドオンタイプ。直線デザインではなく、ボディに合わせてデザインされている。8 現在開発中のリアディフューザー。両サイドがカナード形状になっているが、製品ではディフューザーと一体式になるという。

バランスイット coming soon!

ディフューザーは
東京オートサロンでデビュー予定!